

BOOK

BOOK

BOOK

BOOK



財団法人 伊旛郡市文化財センター

FIELD

FIELD

FIELD

FIELD

FIELD

もと さくら しょう あと どうこう じ
本佐倉城跡(東光寺ビヨウ)



- ←主郭部
- ←帯曲輪
- ←中段平場
- ←下段平場



↑ 調査区東側遠景

中段平場盛土造成の様子 →

本佐倉城跡は15世紀後半から豊臣秀吉の小田原攻め(1590)の際に滅ぼされるまでの約100年以上に及び下総守護千葉氏の居城として重要な役割を担ってきた戦国時代の城郭です。現在でも土塁や空堀、郭群などが良好な状態で残存しており、その規模の大きさや当時の築城状況をうかがう重要な資料として平成10年に国史跡に指定され、保存整備に向けての発掘調査や環境整備が継続して進められています。

今回、確認調査を行ったⅥ郭・東光寺ビヨウは内郭群の北側に位置し、ここより北には印旛沼南岸へとつながる低地帯が広がっています。Ⅵ郭は主郭部(標高約29m)から帯曲輪(標高約18m)、中段平場(標高約11~14m)、下段平場(標高約8m)へと至る4段のひな壇状に造成されており、そしてこのひな壇の東西及び南側奥の3カ所に城への入り口である虎口が存在しています。

このⅥ郭の中で最も広い面積を有し、機能的にも構造的にも重要な役割を果たしていると考えられるのが中段平場です。調査の結果、このすべてが繰り返し行われた最厚約3mにもおよぶ盛土作業(大規模なものは3回、小規模なものはさらに数次におよぶ)により構築されていることが判明し、当時の非常に大がかりな造成工事の様子が明らかになりました。また中段平場では南側奥の虎口へと伸びる2条の道路状遺構の他に土坑群・堅堀・溝状遺構も検出されて



↑ 盛土造成により埋められた堅堀

おり、Ⅵ郭の機能推定への手掛かりになっています。

このⅥ郭については現在のところ①大規模な造成を行ってまでもつくり出された平場の状況、②内郭群内における位置的な関係、③建物跡群などが見られない状況などを考え合わせると、「馬場」としての機能推定が有力ですが、このことは今後継続して行われる発掘調査を通して、より詳細が明らかになってくることと思われま

白井屋敷跡遺跡

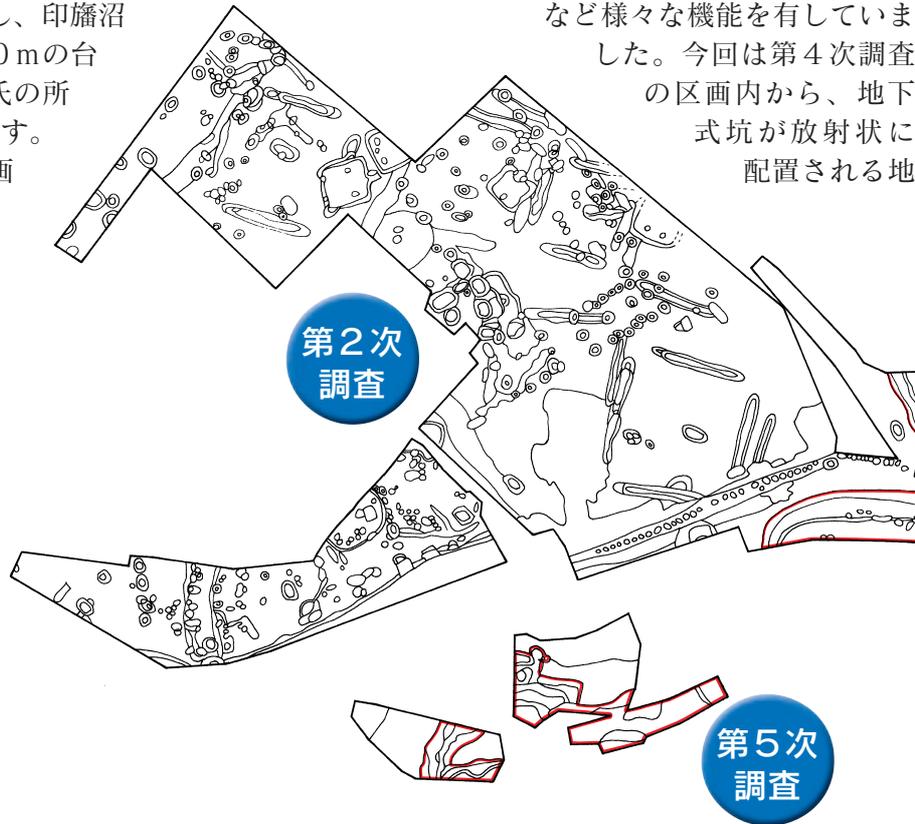
中世後半、千葉氏・原氏といった武士団が勢力を誇った印旛沼周辺には、中世の城跡と考えられる遺跡が数多く存在します。これらは、本拠となる居館跡だけでなく自然地形を巧みに利用した砦跡など様々な形が見られます。

中世の城跡である白井屋敷跡遺跡は、京成白井駅から南へ約2 km、佐倉市吉見字白井屋敷に位置し、印旛沼に注ぐ鹿島川と手繰川に挟まれた、標高約30 mの台地上にあります。周辺地域は、かつて白井氏の所領であり、白井氏に関連する城跡が散在します。遺跡の範囲には、方形に巡る土塁により区画された白井屋敷跡の主郭が現存しています。当センターでは、平成6年から平成16年にかけて計6回の発掘調査を実施しました。

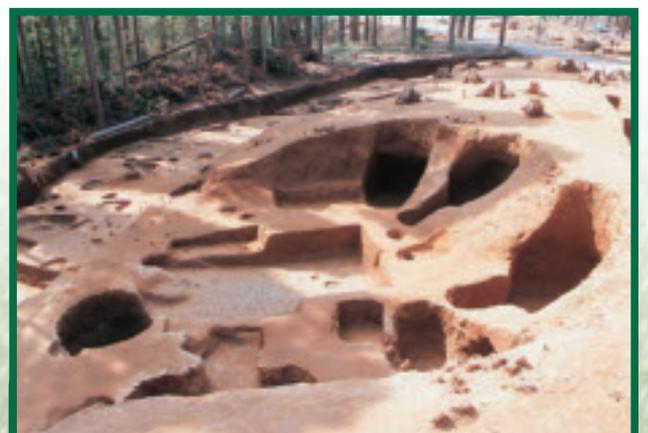
今回は、白井屋敷跡に関連する台地整形による区画の調査成果を紹介します。

台地整形とは、台地の斜面や平坦面を掘り込み、区画造成をしたもので、第4・5・6次調査において検出されました。第5次調査では高さ約3 mの斜面を造成している部分も確認でき、白井屋敷の防御性を高めているものと言えるでしょう。また、区画内には土坑・竪穴状遺構・井戸・火葬

墓・地下式坑などが検出されています。その中で、最も注目されるのは地下式坑です。地下式坑は、地下に室を構築し、出入りを地表に設けたものです。これらは遺跡の中の配置や出土する遺物により、倉庫と考えられる場合や、土葬墓と考えられる場合など様々な機能を有していました。今回は第4次調査の区画内から、地下式坑が放射状に配置される地

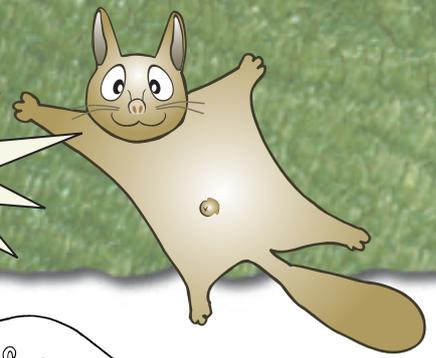


空撮写真



台地整形と地下式坑

わかった!



点が検出されました。

これまでの調査で、臼井屋敷跡の東側に当たる台地縁辺部の状況が見えてきました。斜面が始まるには、台地整形による区画を作り出しています。主郭から離れた第4次調査では、火葬墓や地下式坑が配置され、居住空間とは異なる使用を目的としていたと推察されます。また地下式坑は、台地整形が行われた平坦面に、集中して配置されていることから、倉庫のように使われていたと考えられます。今後の整理作業から詳しい内容が明らかになるでしょう。



第5次調査

第1次調査

第6次調査

第4次調査

第3次調査



地下式坑

(S = 1/700)
0 20m



INFORMATION

《ご案内》

お知らせ!

■企画展「古墳—いにしえ人の眠る丘—」の開催

1月17日(月)から6月30日(木)まで、センターの本館展示室にて、企画展「古墳—いにしえ人の眠る丘—」を開催しております。今回は古墳時代の象徴でもある「古墳」に注目しました。古墳時代の前期から後期の墓制や副葬品を解説しながら、印旛郡市内の古墳から発掘された埴輪や直刀、装飾品などの資料を展示しております。

西国の古墳とは異なる、東国で発展した古墳文化に触れてみてはいかがでしょうか。(土日・祭日休館)



■本佐倉城跡現地説明会

去る、3月5日に開催予定であった本佐倉城跡の現地説明会は、前日からの降雪のため中止となりました。

本佐倉城跡は、1998年9月11日、国指定史跡に登録され、本年度より保存整備に伴う調査を開始しました。その成果を佐倉市・酒々井町・(財)印旛郡市文化財センターの3者合同による現地説明会を企画いたしましたが、深掘などを行う城跡調査の性格上、積雪の中では安全性の確保が困難と判断し、やむなく中止とさせていただきます。

当日、用意しておりました資料は、発掘の様子や調査区域の性格・機能をわかり易く解説しております。本館展示室にて配布しておりますので、どうぞ、ご来室下さい。

また、ホームページにも公開しております。



《発掘中の遺跡》

2月～1月

がんばってます!

＜佐倉市＞

- 本佐倉城跡 (東光寺ピョウ) (中世)
- 将門平台遺跡 (第3次) (奈良・平安時代、近世)
- 井野長割遺跡 (第10次) (縄文時代)

＜四街道市＞

- 木戸場遺跡 (第2地点) (旧石器時代)
- 前原No.2遺跡 (第6地点) (縄文時代、奈良・平安時代)



将門平台遺跡 (第3次)

《室内作業》

こつちも やってます!

＜本部統合事務所＞

- 佐倉市鎌木町198-3 TEL. 043-484-0133
- 江原台遺跡 (佐倉市 縄文～奈良・平安時代)
- 井野城跡 (佐倉市 奈良・平安時代、中世)
- 笹目沢Ⅰ・Ⅱ遺跡 (四街道市 縄文時代～中世)
- 松ノ木台遺跡 (富里市 縄文、古墳、奈良・平安時代)
- 木戸場遺跡 (四街道市 旧石器、縄文時代、中・近世)

＜佐倉南統合調査室＞

- 佐倉市岩富町528-1 TEL. 043-498-0765
- 宮内井戸作遺跡 (佐倉市 縄文時代)
- 内田端山越遺跡 (佐倉市 奈良・平安時代)
- 飯塚荒地台遺跡 (佐倉市 古墳～奈良時代)
- 井野長割遺跡 (佐倉市 縄文時代)

《お知らせ》

※上記の発掘現場、室内作業は見学できます。ご期待に添えない場合もありますので、かならず、事前にご連絡ください。詳細は本部へお問い合わせを!

